

# ボラ協情報

平成25年(2013)8月7日 第74号

## Normalization をめざして

—ボランティアのボランティアによる情報誌—

### 三浦市ボランティア連絡協議会

団体数 16 団体

(平成25年7月31日現在)

編集・発行

三浦市ボランティア連絡協議会広報部会

事務局：社会福祉法人三浦市社会福祉協議会地域福祉課

三浦市総合福祉センター

〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3

TEL 046-888-7347/FAX 046-889-1561

### 新会長就任のあいさつ



大井ヨシノ会長

前任の高梨テイ会長が八年にわたり、粉骨砕身され、ここまで発展させたボランティア連絡協議会をお引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。

もとより微力ではございますが、これまでの経験を踏まえ、これからの三浦市におけるボランティア活動の推進、そして、地域福祉の充実と発展に向けて、その職責を全うするよう努めてまいり所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

近年の少子・高齢化は、家族機能の低下や、近隣のつながりが希薄化するなど、地域社会を取り巻く環境が大きく様変わりしています。そして、このような変化を背景とした高齢者の孤立や、子育てに対する不安、虐待、災害弱者への対応など安全・安心の地域生活を揺るがす問題が数多く露見するようになってきました。

また、先の東日本大震災という未曾有の大惨事を経験し、人と人が「つながっている」ことの重要性が再認識されるようにもなってきました。地域の中でともに助け合い、支え合い、皆が笑顔で安心して暮らすことのできる地域づくりが今、あらためてクローズアップされているのです。もう一つ東日本大震災によってクローズアップされたことがあります。ボランティアの存在です。この震災でボランティアが果たした役割には大きなものがありました。それぞれの団体が、単体で活動するのではなく、横の繋がりを持つことによって、よりその力が広がるということも証明されました。

こうした経験を踏まえて、会員相互の連携の強化と親睦を目的とした組織づくりをめざしていきたいと考えています。

それには皆様のご協力が必要不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。以上をもちまして就任のあいさつとさせていただきます。

このたび、会員各位のご推挙により会長の大役をおおせつかったことにになりました。大井ヨシノでございます。

### 原点に立ち返ろう！新役員が抱負を語る。

## 無理なく！楽しく！をモットーに活動していきます！



三浦市ボランティア連絡協議会の新役員の皆さんです。



退任された高梨会長



来賓の吉田市長

去る五月十七日、第二十三回三浦市ボランティア連絡協議会総会が開催されました。役員改選期にあたった同総会には、吉田ひでお三浦市長も来賓としてお越しくださり、会員の日頃からの活動の労をねぎらってくださいました。

また、任期満了に伴い退任した高梨テイ元会長に、三浦市社会福祉協議会の川崎会長が感謝の意を込めて花束を贈呈されました。高梨前会長、本当にご苦労さまでした。新しく役員に就任したのは、会長に大井ヨシノ、副会長に世古久枝、書記に深瀬加根、会計に日景永子、監事に佐藤和子(敬称略)という布陣です。今年度は「無理なく！楽しく！」をモットーに活動していきたいと役員の方々は、異口同音に抱負を語られました。

### 第二十三回総会で役員選出

### 活動助成金説明会



活動助成金説明会の様子

入ることにより公平性が高まる、といったことが挙げられます。

その新制度の説明会が去る七月九日(火)午後二時より、三浦市総合福祉センター三階多目的ホールで開催されました。

### 第二ボランティア活動推進計画



「第二次ボランティア活動推進計画」は、平成二十五年度をスタート年度とし、ボランティア・市民活動の振興に関する向こう5年間の支援(振興)事業を計画化したものです。

ボランティア・市民活動の振興策として①ヒト(人材育成)②モノ(施設・設備、活動場所)③カネ(活動資金)といった社会資源の拡充と④ボランティアセンターの機能強化の四つの施策を計画の中心に据え、これらの施策を横断的につなぐ⑤情報(収集・発信)をもって計画を構成しています。

また、これらの社会資源をボランティア・市民活動者につないでいく仲介機能を果たすことが、第三者機関としてのボランティアセンターに課せられた重要な役割であるとして計画に明示されました。

これを受けて三浦市社会福祉協議会では、同計画に掲げられた「活動者の『意欲を応援』する」という目標に向けて、当該者の主体性の尊重を第一に、ボランティア・市民活動の振興に努めるといいます。

事務局員の紹介

ボラ協の新執行部を支えるのは、三浦市社会福祉協議会地域福祉課(ボランティアセンター担当)の面々です。

役員の変更を期に脱会する団体が相次ぎましたが、同課職員の働きかけもあり、改選前と同様の会員数を確保できました。ボラ協にとっては強い味方です。

そこで本会の事務局を担ってくださるお二人に今後の抱負について伺いました。

「三浦市社会福祉協議会では、昨年度『第二次ボランティア活動推進計画』を策定しました。この計画を推進するにあたってボラ協は大切なパートナーです。会員の増強を大きな目標として、可能な限りお手伝いしたいと思えます」と高井千夏課長。ボランティアコーディネーターの杉崎悠子課員も「入職三年目の頼りない私ですが、皆様のご指導を頼りに精一杯頑張ります。支援というよりもご一緒させていただくつもりです」と力強く抱負を語ってくださいました。



杉崎悠子さん

高井千夏さん

予定

平成25年

- 8月 広報紙第74号発行
9月中旬 ボラ協メンバーポロシャツ完成
10月10日 親睦研修会
11月24日 みうら市民まつり参加
12月 広報紙第75号発行

平成26年

- 1月 新年会
3月 広報紙第76号発行
5月 総会

平成25年度三浦市ボランティア連絡協議会予算

Table with 4 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減(Δ), 備考. Includes rows for 会費, 助成金, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 4 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減(Δ), 備考. Includes rows for 会議費, 総務費, 研修費, 広報発行費, 負担金, 消耗品費, 通信運搬費, 旅費, 予備費, 引当金, 合計.

研修会報告

復興見据えたまちづくり

ーコミュニティケア型仮設住宅の事例を通してー

三浦市ボランティア連絡協議会 会長 大井 ヨシノ



7月12日(金)神奈川県社会福祉協議会主催による研修会に出席しました。主な内容は講師の東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員後藤純先生が手掛けた、岩手県釜石市平田地区240戸のコミュニティケア仮設団地建設にあたっての様々な問題点とその試みについてでした。

- 1 見守りやすいケアゾーン(高齢者の住まい)
2 ウッドデッキでバリアフリー化したご近所付き合いのできるゾーン
3 サポートセンター、診療所、子育て支援の拠点
4 路線バスの停留所、学校、病院へのアクセスの確保、商店街の配置
5 高齢者、医療福祉関係者、地元自治会、行政など協議会を立ち上げ、地域課題に対する役割分担

多岐にわたる試みを知り得て本研修会に出席して本当に良かったと実感しました。被災された方々のことを他人事と思わず、心を寄せ合っていきたいと痛感しました。

みうら市民まつり

11月24日(日)

ボラ協が出店！ 売上金を被災地に！

これまでのボラ協の活動は、親睦と研鑽を中心におこなわれてきました。今年度はそうした活動内容を見直し、ボラ協自身が活動の主体として社会貢献活動を実践していこうということになりました。

そこで、三浦市民のための祭典「みうら市民まつり」に義援金の造成を目途に出店します！

販売品目は①マグロの串カツと②ボラ協オリジナルTシャツの2種です。オリジナルTシャツのロゴに刻まれた「未来」の文字は、活動の趣旨に賛同してくださった吉田ひでお市長の直筆です。



ーマグロかつパーガーを開発した三浦市社会福祉協議会が運営する就労継続支援B型事業所「どんまい」の協力を得て「マグロの串カツ」を販売します。



ー三浦市章をモチーフに図案化したロゴ。大根に刻まれた「未来」の文字は吉田市長の直筆。



平成25年度登録団体

(8月1日現在)

Table listing registered organizations: 団体名, ガイドヘルプの会, 菊名地区地域福祉推進委員会, こだま会, 初声手話サークル, 三浦市手話サークル ともしび会, スポーツクラブさざなみ, 三浦市精神保健福祉ボランティア連絡協議会, 三浦市地域婦人団体連絡協議会, 福井記念病院ボランティアサークル, 三浦塗装看板業組合, つくしクラブ, 育児サークル「にっこにこ」, みうら子育てネットワーク, クリーンA, 三浦ホテルの会



今年度の研修会は親睦会も兼ねます！ 場所は「横浜クルーズ・クルーズ」。料理人がこだわる安全・安心な食材を使ったシェフ手作りの60種類を超える世界各国の料理に舌鼓を打っていただきます。

日時 平成25年10月10日(木) 午前10時 (三浦市総合福祉センター集合)

場所 横浜クルーズ・クルーズ 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 スカイビル27階 e-mail: yokohama@ginza-cruise.co.jp

会費 2,100円(税込) 奮ってご参加ください！

お詫びと訂正

平成25年3月発行の「ボラ協情報」において「みうら市民まつりNo.2」という記事をご寄稿いただいた石川さんの名前が間違っておりました。正しくは「石川博英氏」です。ここに訂正お詫び申し上げます。

編集後記

新広報部会の紹介。順不同

佐藤和子(こだま会)

水野節子

柳田一郎(精ボ連)

平成25年度広報部会が8月6日の代表者会議で広報部会員を拝命しました。3名とも統投となります。一部会員から「ボラ協情報」は誤字・脱字が多いとのご指摘をいただいておりますが、取材、原稿依頼、編集会議・パソコン入力、印刷、各団体への配布とその作業は多岐にわたります。何分にも素人集団のやっていること。会員の皆様には多少の不備はご容赦いただき、温かい目で見守ってくださいますようお願い申し上げます。今後は、十分に校正し、より良い「ボラ協情報」づくりに努めますので...



左から、佐藤、水野、柳田です。会員各位のご協力をお願いします。